

吉屋 敬と「イル・マエストロ」

もう何年になるでしょうか。かなり早い時期からオランダに在住する日本人の方たちに絵画の指導をしています。これはとてもおもしろくて楽しい仕事です。何が面白いかというと、先ず人に教えることが自分に教えること、知っていると思っていたことを再度確認することにもつながるからです。

イル・マエストロに参加する方の絵の背景はまちまちですが、技術の向上はもとより、日と共に自分の個性と感性を作品に表出していく過程を見ることは、これまた「楽しい」の一語に尽きます。

そして、もっとおもしろく楽しいのは会員の方たちとの交流です。彼女たち、彼らは絵を描きながらいろいろな会話をしますが、これは会員の方にとって楽しいあるいは有意義な交流であるだけでなく、私にとっても、私の知らない人生のいくばくかを教えられ、時にはそれが執筆のインスピレーションにつながっていったりもします。そして会員の方たちが日本に帰国した後も、同じ経験、同じ時代を共有した親しさから、いつまでも交流を続けることができるのも、とてもうれしいことです。

イル・マエストロで腕を磨いた(!)会員の中にはその後もずっと続けて制作し、公募展で入賞して70になった人、また美術史を学んで学者の仲間入りした人などもいて、多士済々、とても楽しいグループです。



<レッスン風景と会員展の準備、そしてその会場風景>



<年に一度の夏の写生会。俗に言う上手・下手は誰でも訓練を受ければ腕は上がります。でもそれ以上にアートでは個性が重要。個性に徹すると同じ場所を描いても夫々にとてもユニークな作品が出来上がります。>

この面白くて楽しい「イル・マエストロ」に是非参加してアートに挑戦してみませんか?!